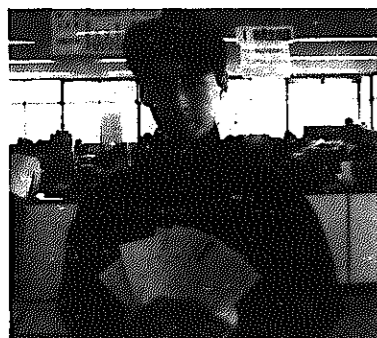


広報クイズ ⑪

当選おめでとう!



1月22日に市役所に来られた斎藤俊広さん(下塩俣)から抽選していただきました。

〔500円の図書券〕

- ▶ 遠藤勝徳さん (上下諏訪木・38歳)
- ▶ 田村おさむさん (日の出町・24歳)
- ▶ 高井宏晃さん (庄瀬・4歳)
- ▶ 斎藤穂積さん (大字七軒・9歳)
- ▶ 村山和江さん (高校前通・?歳)

〔県立自然科学館招待券〕

- ▶ 星野ひろ子さん (五六の町・42歳)
- ▶ 西村かおるさん (鍋湯・18歳)
- ▶ 青田智恵さん (西笠巻新田・5歳)

応募の方法は...

はがきに答えの記号(例①) (A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で五人に五百円の図書券を、三人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

○あて先 〒950-112 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係
 ○締め切り 二月二十日(火) 必着のこと
 ○抽選 二月二十一日(水)に市役所に来られた人に抽選していただきます
 ○発表 三月一日号

今月の問題は...

①大鷲中学校で今年初めて開かれたゲーム大会。さて、なんの大会だったでしょう?
 A トランプ大会
 B おしくらまんじゅう大会
 C 百人一首大会 (ヒント⑧八ページ)

②市制三十周年記念講演会の講師が決定しました。一人は浜美枝さんですが、もう一人はだれでしょう?
 A ケント・デリカット
 B ケント・ギルバート
 C クラーク・ケント (ヒント⑥六ページ)

③所得税の確定申告と、市・県民税の申告時期になりました。申告が始まるのは二月十六日からですが、最終日はいつでしょう?
 A 二月二十八日
 B 三月十五日
 C 三月三十一日 (ヒント②二ページ)

前回の答えは...

毎月たくさんのお応募、ありがとうございます。市や広報紙に対する皆さんのご意見を紹介できないのが残念です。機会を見つけて紹介したいと思っております。クイズで楽しみながら、市政についてご理解いただければ幸いです。

県立自然科学館のご協力で、招待券もプレゼント。自然科学館の詳しい催しは十六ページの情報センターをご覧ください。先月号の正解は①C(民俗資料館があるのは教育委員会庁舎三階です。ぜひ一度お出かけください)②A(ジャパンプイックが開かれたのはマルセイユ)③C(吉沢文子さんの得意な趣味は紙粘土細工です) 応募総数は七十四通で、全問正解は七十二通でした。

市民談話室

原稿募集

3月1日号の原稿を募集します。皆さんが日ごろ考えていることや身近な出来事など、気軽に投稿してください。字数は400字から500字程度とします。あて先は、〒950-12白根市大字白根1235 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 (☎373-2111④333) です。

なんといっても、健康で生活できるということ、いちばんの幸福なことだと思います。私は若いときはたいへん苦労しましたが、健康であつたればこそ、これまで生きてこられたことと思います。

戦争に遭い、家族はおおぜいなのに食べる物は少なく、豆御飯、大根飯、ジャガイモ御飯、いろんな物を食べました。着る物は買うこともできず、金もなく、ただただ食べて生きることに精いっぱいだった終戦後。

健康であればこそ、家庭の仕事やら用事もできます。また旅行などもたびたび出ます。家の用事のない日はゲートボール。これまた老人にいい運動だと思います。ときにはクラブの試合、地域の試合とかほかの人たちと交



家庭をたいてつ 健康がいちばん 牧野ヨセさん(高井野無職・七十四歳)

い記憶が残るのも事実でしょう。戦後四十余年、私たちは新憲法の下で戦前の制度との決別を目指してきました。その努力で得た民主主義がそれほど弱くとも思えません。世界の国々の中にも、国家元首などの就任儀式に際してはその国独特のやり方が見られます。長い歴史を持つ我が国が皇室に残された伝統文化

を継承していくことは、ある意味では許されるのではないのでしょうか。今たいせつなことは、新しい象徴天皇の即位が国民や世界の国々に心から祝福されることだけに、そのためにも過去の慣習にこだわらず、国民の間のさまざまな考え方に配慮しながら、平成の時代にふさわしい儀式を願うものです。



図書館と 私の感激 東樹友次さん(鍋湯無職・七十七歳)

今日は人 明日は我が身と 想われて わくらは散るや 佗びしくもある

年配者ともなると、血液の体内循環が緩慢になるから当然の生理現象として、寒さが身にしみがちになる。

秋より冬ともなると、自らわびしきにおそわれる。ところが聖賢樹林のごとくとかで、白根図書館の蔵書は四万三千九百冊余りとお聞きした。一冊といっ

ても厚いもの、薄いものさまざまであるが、仮に一日平均一冊を読んだとしても、百三十四年間も生き延びねばならぬ。

図書館は寒ければ暖房、暑ければ冷房と、四季折々の変化に対応される。無限の向学心に燃える者にこたえるべく施設されているのにおそまきながら気付いた。感謝感激で私の胸の中は満たされている。



平成にふさわしい 即位の儀式 武田寅治さん(蔵主・会社員・六十二歳)

市民文芸

短歌

雪しぐれ避けつ、野良に捨猫の 寂しき眼で吾に寄り来る 小出熊四郎

孫達の九人も集えり正月を 子馬の如くあばればねわおり 小出よし

ハイスケールの根生のタスキ 受け継がれ永雨の古都をひた競い 抜く 中村 京

親の見栄着てる二十歳の娘の唄れ着 林鐘の余韻に心洗われる 田村 恒夫

大志よりマンガ本抱く孫の春 タイミング遅れた言葉の彩が舞せ 中村 尚治

落款が本物ですと言っている 西条 ムラ

毎日を繕い合って夫婦生き 早川 英男

天駆ける馬に今年も夢を乗せ 山岡 フミ

少しづつ葉袋が増える老い 吉川 彰

神様が飾にける絵馬の山 米野 光雄

寒風も好きな競馬で苦にしない 今井 七郎

冥土から年金夫の名で届く 織田 セツ

口も字も拙いが人情自負してる 後藤マサノ

俳句

寒霜だつて気軽に翔べる羽を持ち 佐藤トミノ

たまさかの化粧誤解の目に出合う 佐藤 ヨキ

茶友逢気軽に留守を頼まれる 高橋祐四郎

色も香も少し残して菊枯る 竹石 甚五

木守柿つるべ落としの日をどらへ 公条 雪夫

沢庵の樽に落ち着く重石かな 成沢 素明

千大根三十本もあればよし 細貝 溪子

大根引く今日を峠という日和 猪股 南魚

乳歯抜けはにかむ笑顔冬の朝 五十嵐寛吾

久方の夫子光来冬うらら 和泉 伸子

短日やしほみ忘れのおもちや箱 山田 孝

男手を借りて大根干しにけり 小林 光子

冬圍い咳一つして通る人 堀内ナナ子

玉木 長吉

詩

めでたき老人会に 座布団いたたく年となり 酒井 千枝

ほころびが気になりて 針をもつ 妻々の一日